

協働事例集

～市民と行政が共に力を合わせて～



令和2年4月
平塚市

協働事例集とは

近年、市民のニーズが多様化・複雑化する中で、行政だけでは対応できない地域課題が増えてきています。

一方で、多くの市民活動団体や、地縁団体、大学などが地域課題解決の担い手として活躍しています。

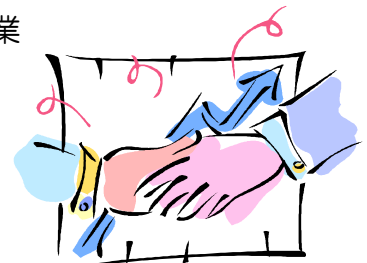
平塚市においても、市民と行政が連携・協力して地域課題を解決している事例が増えていきます。この事例集では、平成29年度から平成31年度の3年間に、市民と行政が協力・連携して実施した事業を調査し、事例集としてまとめました。

市民と行政職員が更に協働意識を高め、協働のまちづくりを進めるために、この協働事例集をご活用ください。

協働の定義

この冊子で紹介している事業では、様々な方法で市民と行政が連携・協力しています。より多くの事例を紹介するため、協働の定義を広く捉え、主に次のような方法の連携・協力事例を調査の対象としました。

- ①提案型協働事業 ・・・提案型協働事業制度により実施した事業
- ②共催 ・・・市民と行政が共に主催者として実施する事業
- ③委託 ・・・市からの委託により市民が実施する事業
- ④補助金 ・・・市が財政的支援をして市民が実施する事業
- ⑤実行委員会 ・・・市民と行政が実行委員会を組織して実施する事業
- ⑥物的支援 ・・・市が会場、用具などを用意して実施する事業
- ⑦人的支援 ・・・市が人材の派遣、事務局の支援などをする事業
- ⑧広報支援 ・・・市が周知広報の協力をして実施する事業
- ⑧ボランティア ・・・市の事業に市民がボランティアで参加する事業
- ⑨事業協力 ・・・事業の実施に市民が協力する事業



1. 提案型協働事業（平成29年度～31年度に開始した事業）

- 事例紹介① ひらつか市民活動センター協働運営事業 P 1
事例紹介② 「アクティブ防災」で作る、手をつなぎたくなる街平塚の防災力強化プロジェクト
. P 4
事例紹介③ 生物多様性保全推進事業 P 7
事例紹介④ 図書館におけるボランティア体験を通じた不登校・ひきこもり改善・自立支援事業
. P 10

2. その他の協働事業（平成29年度～平成31年度実施事業 抜粋）

- 事例紹介① ひらつかパラスポーツフェスタ P 13
事例紹介② #hiratsukagood 写真展共同開催 P 14
事例紹介③ 逃げ地図作成 P 15
事例紹介④ ひらつかリトアニア交流推進実行委員会 P 16
事例紹介⑤ 波力発電関連分野での新産業創出促進事業 P 17
事例紹介⑥ ベジタマもなかレシピコンテスト P 18
事例紹介⑦ 得する街のゼミナール 平塚まちゼミ P 19
事例紹介⑧ ちいき情報局の運営 P 20
事例紹介⑨ びわっ子クラブ P 21
事例紹介⑩ フードドライブの実施 P 22
事例紹介⑪ 中心市街地活性化推進事業 P 23
事例紹介⑫ ちゅうおうFESTA P 24
事例紹介⑬ 対話による美術鑑賞事業 P 25

3. 提案型協働事業一覧（平成29年度～31年度実施 5事業） P 26

4. その他の協働事業一覧（平成29年度～31年度実 310事業） P 27

ひらつか市民活動センター協働運営事業

- パートナー：特定非営利活動法人湘南 NPO サポートセンター
- 担当部署：市民部 協働推進課
- 提案型：行政提案型協働事業
- 事業年度：平成29～31年度

事業の目的と概要

■ 段階的な民営化を目指し協働運営

平成15年5月に公設公営で市が設置した、ひらつか市民活動センターについて、将来的な民営化による中間支援機能の強化を目的に、市民活動支援を目的とした特定非営利活動法人湘南 NPO サポートセンターと協働運営を平成29年度よりスタートしました。

公営での施設管理や事業運営のノウハウを継承するために、公営スタッフと団体スタッフが一緒に勤務しながら、徐々に団体スタッフの割合を増やしていく段階的な民営化をすすめ、平成31年度からは団体スタッフのみでの運営体制となりました。

■ 団体の専門性・当事者性を活かし機能強化

3年間の協働運営により、中間支援団体としての専門性や当事者性を活かしたノウハウ等を運営に取り入れ、相談機能、情報発信機能、コーディネート機能など市民活動センターの中間支援機能の強化を図りました。



■ 崇善公民館との合築を機に地域との連携を強化

平成31年4月1日には見附町に新設された崇善公民館との合築施設に移転し、崇善公民館との相互利用を開始しました。今後は崇善地区をはじめ、地縁の活動団体と市民活動団体の連携交流を推進していきます。

お互いの特性を活かした役割分担

■ 行政の主な役割分担

公営スタッフの配置、ノウハウの引継ぎ、施設維持管理、許認可事務、事業企画への助言等

■ 団体の主な役割分担

市民目線によるきめ細かな団体支援、窓口スタッフの配置、事業企画実施等

事業費とその主な内容

■ 事業費と市の支出額

平成 29 年度	事業費	4,091,819 円（うち市の支出額 3,970,000 円）
平成 30 年度	事業費	9,962,218 円（うち市の支出額 9,846,610 円）
平成 31 年度	事業費	16,309,000 円（うち市の支出額 16,177,000 円）

■ 主な支出の内容

人件費、旅費交通費、消耗品費、講師謝礼、印刷費など

協働による成果

■ 当事者性を活かした丁寧な相談対応で、相談件数は3年間約2倍

市民活動団体や市民からの相談件数は、協働運営開始前（平成28年度）176件に対し、平成29年度222件（28年比26%増）、平成30年度264件（28年比50%増）平成31年度357件（28年比102%増）と着実に増加しました。同じ市民活動団体である当事者性を活かし、相談者に寄り添った丁寧な相談対応が利用者からも好評を頂いています。

■ 情報紙・ホームページをリニューアル

また、市民活動センターの情報紙リニューアル（カラー化）や、ホームページのリニューアルにより、情報発信機能を大幅に強化しました。



行政担当課の声

■ 団体の専門性・ノウハウを運営に取り入れ市民活動が活性化

湘南 NPO サポートセンターが持つ、市民活動支援の専門性、ノウハウを運営に取り入れたことで、市民活動団体の悩みの解決や、新たな活動の立ち上げなど、団体支援の機能がより充実し、NPO 法人を新たに取得した団体や、助成金を獲得できた団体、表彰を受けた団体が増えるなど、市民活動の活性化の効果が具体的に表れています。

■ 頼られる市民活動センターを目指して

利用団体と同じ市民活動の立場から、市へも様々な提言も頂き、今後も協働により頼られるセンターを目指して一緒に頑張っていきたいと思っております。

パートナーの団体概要

■ 共に行動する市民社会をつくる

組織や制度の壁を越え、人々がつながり共に行動する市民社会をつくるため、NPO・自治体・企業・大学等と連携し地域課題の解決に向けて活動しています。

■ 地域に寄り添い「必要とされる支援」を心がけて

ひらつか市民活動センター協働運営の他、平塚市との協働による「ひらつか地域づくり市民大学」講座、神奈川県との協働による共生社会仕組みづくり外出支援モデル事業、ローカルメディア「ひらつか地域魅力ネット」の運営など、地域に寄り添いながら、「必要とされる支援」を心がけて活動しています。

パートナーの声

■ 常に話し合い、適切な役割分担と対等な立場で協働できた

市民活動センターの民営化に向けて、担当課である協働推進課と団体とで、常に話し合い、情報交換し、共通の目的である市民活動センターの活性化に向けて、適切な役割分担、対等な立場、良好な関係を維持しながら実施することができました。

■ 協働のまちづくりの拠点を目指して

利用団体の皆さんにも好意的に受け止めていただき、民営化を進めるための土台作りができました。今後も協働関係を築きながら、市民活動の活性化を図り協働のまちづくりの拠点となるよう目指していきたいと思えます。



「アクティブ防災」で作る、手をつなぎたくなる街平塚の防災力強化プロジェクト

- パートナー：特定非営利活動法人 MAMA-PLUG
- 担当部署：市長室 災害対策課
- 提案型：市民提案型協働事業自由部門
- 事業年度：平成31年度～

事業の目的と概要

妊婦や主に2歳までの子どもを育てている保護者を対象に、これまでママプラグが培って来た「アクティブ防災」のノウハウ（過去の災害体験談を自分ごととして考えてもらうための独自のグループワークや資料等）を活かし、災害時の生きのびる力を身につけることを目的とし、啓発を図りました。

■ 防災を楽しく学ぶセミナーを開催

妊婦や主に2歳までの子どもを育てている保護者向けにいざという時慌てずに大切な赤ちゃんとの生活を守るための、防災セミナーを実施しました。（全3回）

市内在住の主に2歳までの子どもを育てている保護者や祖父母を対象に、子連れ孫連れ向け防災セミナー（全3回）を開催しました。

- ①子連れアクティブ防災講座（座学中心）
- ②防災ピクニック（屋外防災ウォークや非常食試食など）
- ③防災ワークショップ（参加者それぞれのオーダーメイド防災）



■ 子どもを預かる職員向けにもセミナーを開催

公立幼稚園、認定こども園、保育園の教職員を対象に、教職員向け防災セミナーとして、日常からできる防災対策、保護者と園との連携、日頃からの園での備えについてグループワークを通して自身の家庭における問題点に気づき、解決策を考える講座を実施しました。

■ 平塚初！ママ目線に特化した防災冊子を発行

子どもと家族の幸せを守るために、すぐに始められる防災情報を掲載した防災冊子「HIRATSUKA 親子防災」を作成（10,000部発行）し、災害対策課、こども家庭課、保育課、健康課 他で配布しました。

お互いの特性を活かした役割分担

■ 行政の主な役割分担

市情報の提供や市内団体への連絡、相談。セミナーの告知、参加者募集、会場確保、防災冊子配布。

■ 団体の主な役割分担

防災冊子の制作、印刷。テキスト作成とセミナーの企画、実施。セミナーの告知。

事業費とその主な内容

■ 事業費と市の支出額

平成31年度 事業費 1,327,164 円（うち市の支出額 1,327,164 円）

■ 主な支出の内容

人件費（セミナー講師、アシスタント等）、諸経費（セミナーで使用する消耗品）、交通費（スタッフ）、委託料（冊子制作費）、印刷費（防災冊子印刷）

協働による成果

■ 小さな子どもがいる時期の防災を学び不安を解消

「妊娠期」「子育て期」における、災害への対処法を学べる防災セミナーを受講することで不安を解消し、災害への備えに着手できました。

■ 行政と協働することで防災、教育、子育て各課と連携できた

平塚市との協働により、防災所管部署と連携した子育て世代への連続したセミナーを開催できたことに加え、教育や子育て所管部署などとも連携し、幅広く防災セミナーを実施することができました。



行政担当課の声

■ 行政だけでは実現できなかった生活者視点を取り入れた防災啓発が実現

これまで多くの自治体と連携してきたママブラグの生活者としての視点を取り入れたアクティブ防災は新しく、これまで具体的な啓発を講じづらかった市民に向けた取組を進めることができました。

■ 今後はセミナーをさらに拡大

1年目の取組を踏まえ、2年目はセミナー対象者の拡大を図っていきたいと思います。

また、親子向け防災冊子の配布を継続し、市内に住む妊婦や主に2歳までの子どもを育てている保護者の防災に対する意識向上を図り、令和2年度以降も協議しながら提案型協働事業として連携していきたいと考えています。

パートナーの団体概要

■ 家族の視点で防災を日常に

“「家族の視点」で生きる力を高める”をコンセプトに、防災を日常生活に組み込み、備えをスタンダードにすることを目指し活動しているNPOです。

■ 神奈川県や東京都など行政との協働実績多数

平成25年から5年間実施した神奈川県との協働事業をはじめ、全国でセミナーやワークショップを行ない、防災関連の書籍出版やコンサルティング事業などを展開しています。

東京都主催「パパママ東京ぼうさい出前教室」委託講師として今年度は60本以上の講座を担当。生活者としての視点を活かしたアクティブ防災を啓発しています。

パートナーの声

■ 市民がともに手を取り合う安心して暮らせるまちをイメージ

シティプロモーション「手をつなぎたくなる街 湘南ひらつか」のスローガンのもと、市民がともに手を取り合い、安心して暮らせるまち作りをイメージし、防災になかなか取り組めない若年家族層に向け、事業に取り組みました。

■ セミナーを通じていきいきと家族で防災に取り組む参加者

防災セミナーの回数を重ねるごとに参加者の防災意識が高まり、いきいきと家族で防災に取り組んでいく様子を目の当たりにしました。

今後も平塚市とともに、市民の防災力強化に努めていきたいと思っています。



生物多様性保全推進事業

- パートナー：ひらつか生物多様性推進協議会
- 担当部署：環境部 環境保全課
- 提案型：行政提案型協働事業
- 事業年度：平成31年度～

事業の目的と概要

■ 行政と市民が協働で生物調査、自然環境評価書を作成

本事業は、平塚市とひらつか生物多様性推進協議会が協働し、令和元年度から令和3年度の3年間で市内の生物の生息状況を調査して生物多様性の現状を把握し、自然環境評価書を作成するとともに、調査で得られた生物の生息状況などを市民の方々への情報提供を通じて、生物多様性の保全について普及啓発を行う事業です。

■ みんなで取り組むアクションプランの基礎資料に活用

また、作成した自然環境評価書は令和4年度を目安に、「市民」「事業者」「行政」それぞれが平塚市の自然や生物のために取り組むべきことを示す「平塚市生物多様性アクションプラン（仮称）」の基礎資料として活用します。

■ 調査は対象生物、エリアを分けて調査

この事業は、調査事業と啓発事業に分けて取り組んでおり、調査事業は生物を昆虫、植物、魚、哺乳類、鳥、両生・爬虫類の6分類に区分し、調査を行っています。調査範囲として令和元年度は陸域、令和2年度が水域を調査し、令和3年度は陸域、水域のフローアップ調査を行うとともに、調査データを分析・評価し自然環境評価書を作成します。



また、啓発事業は、観察会の開催や環境関連のイベントなどに参加し、調査状況や調査結果などを周知し、生物多様性の保全や活用に関する啓発を行います。

お互いの特性を活かした役割分担

■ 行政の主な役割分担

生物調査・分析・評価、普及啓発イベントなどの支援、協議会活動のPR、広報活動、作成された自然環境評価書を基にした生物多様性アクションプランの検討・策定

■ 団体の主な役割分担

市内の生物生息状況の調査・分析・評価及びその結果の報告（自然環境評価書の作成）、生物多様性の保全に関する啓発イベントや観察会などの実施

事業費とその主な内容

■ 事業費と市の支出額

平成31年度 事業費 3,960,000 円（うち市の支出額 3,960,000 円）

■ 主な支出の内容

調査員謝礼金、分析・評価業務委託料、冊子、ポスター作成委託料

協働による成果

■ 協働により、滞っていた市内の自然環境の現状把握ができる

市内の自然環境評価は平成17年度に作成して以来滞っていましたが、協働事業による生物の生息状況を調べることで、市内の生物多様性を基にした自然環境の現状が把握できます。

■ 市民と協働で作る生物多様性に関わる自然環境保全の取り組み

これにより、自然環境の変化を知り、今後の生物多様性に関わる自然環境の保全に対する取り組みを市民との協働で作りに上げていくことが可能となります。



行政担当課の声

■ 生物に精通した団体の経験や知識を活かした生物調査ができる

生物の生息状況を調査している昆虫、植物、鳥、昆虫などの6つの調査班は、市内の生物の調査状況をこれまでも独自に観察している方々であり、その経験や知識を活かしながら生物の生息状況を把握できるとともに、市民の方々に調査結果などの情報を提供することで自然環境の保全への関心を高めることができます。

■ 市が策定する生物多様性アクションプランに繋がる

現在の協働による取り組みは、今後、市が策定する生物多様性アクションプランの取り組みに繋げることが出来ます。

パートナーの団体概要

■ 市内の里山や河川沿岸で活動

生物や自然環境に対して造詣があり、市内の里山や河川沿岸で活動する「市民」「事業者」などによって組織しています。

■ 市民活動団体、企業、幼稚園などの組織、専門家が集まった

参加団体は、里山をよみがえらせる会、金目川水系ネットワーク、こまたん、横浜ゴム株式会社平塚製造所、平岡幼稚園など9団体の他、神奈川県植物誌調査会会員などが参加しています。

パートナーの声

■ 市内各地で活動してきた様々な団体や個人が参加し、情報を共有

これまで、市内で植物、昆虫、鳥、魚類など様々な分野で調査や観察を続けていた団体や個人がひらつか生物多様性協議会として、この活動を通じて、情報を共有化できています。

■ 市民を巻き込んで、活動の活性化や市民理解を深めたい

共通のテーマである生物の多様性を保全し、豊かな自然環境を作り出す活動を市民に周知することで、活動の活性化や取組に対する理解を深めその活動を広めることが期待出来ます。

ひらつか生物多様性推進協議会の取り組み

魚類班の調査風景



植物班の調査風景



平塚市の生物の豊かさを伝えるため、土屋の里山で植物観察会を開催しました。



図書館におけるボランティア体験を通じた不登校・ひきこもり改善・自立支援事業

- パートナー：NPO 法人ぜんしん
- 担当部署：社会教育部 中央図書館
- 提案型：市民提案型協働事業自由部門
- 事業年度：平成31年度～

事業の目的と概要

■ 図書館でのボランティア体験で自信をつけ社会復帰へ

平成28年度から3年間団体と青少年課の協働により、不登校・ひきこもりに悩む親子に対して、彼らへ居場所を設け、相談に応じる等を重ねながら問題の改善と自立を促す事業を行って来ました。

ひきこもり状態から脱し、居場所を訪れた若者が更に自信を高め、自立する為には、居場所以外のシーンで成功体験を積み重ねることが求められます。

そこで、不登校等で悩む若者が中央図書館でのボランティア体験を通して自信を培い、社会復帰への意欲を高めることで、復学・進学・就労といった自立を促すことを目的と決めました。

■ 平成31年度はマニュアル作成など実施体制整備

- ①図書館での作業内容のヒアリング
- ②体験用作業マニュアルの作成に向けた編集会議
- ③マニュアル・アンケート・打合せ等の書類作成
- ④ボランティア体験をするスタッフ研修
- ⑤ボランティア体験の試行
- ⑥ボランティア体験アンケート集計、振り返り会議

■ 体験参加者からも好評

完成したボランティア体験用作業マニュアルをもとに、ボランティア体験を1回試行し、5名の参加者において、アンケートの回答から「おもしろかった」、「また、同じ体験をしてみたい」等のご意見をいただきました。



お互いの特性を活かした役割分担

■ 行政の主な役割分担

ボランティア体験参加者へ「会場」、「体験作業」の提供、ボランティア作業の事前準備、マニュアル作り等への協力

■ 団体の主な役割分担

不登校・ひきこもり等を経験した「寄り添いスタッフ」の提供、「作業マニュアル」や「振り返り資料」等の作成スタッフの提供等

事業費とその主な内容

■ 事業費と市の支出額

平成31年度 事業費 455,280円（うち市の支出額 450,000円）

■ 主な支出の内容

人件費（謝金[事業責任者とボランティアスタッフ]）、事務用品費（インク代、コピー用紙、文房具等）、旅費交通費（団体スタッフ）、保険料（団体スタッフ）

協働による成果

■ 悩みを解決できない当事者親子の回復のきっかけを与えられた

次のとおり、企画提案時に掲げた「成果目標値」を達成することができました。来年度からの体験による自立支援につなげていきます。

①試作版「作業マニュアル」の完成：

1本 → 1本完成

②ボランティアスタッフ研修の実施回数：

5回 → 5回実施

③ボランティアスタッフ研修の参加人数：

15名(3名/回) → 16名

④ボランティア体験の試験実施：

1回 → 1回実施

⑤ボランティア体験の試験実施に参加した当事者：

3名 → 5名



行政担当課の声

■ 編集会議を重ね信頼関係を構築、丁寧にボランティア受け入れ体制を検討

平成31年度からはじめて市民協働事業を行いました。ボランティアスタッフ研修とマニュアルの編集会議を重ね、着実に協働関係を築くことができました。マニュアルは細部まで丁寧に作っていただき、使いやすいものになったと思います。ボランティアの受け入れ体制を検討することもできました。

■ ボランティア体験を通じて自立支援活動につなげたい

今後は、当事者ボランティア体験を行いながら、よりマニュアルとボランティア受け入れ手順を整え、自立支援活動につなげていきたいです。

パートナーの団体概要

■ 不登校・ひきもりの元当事者親子が中心に活動、ゲーム等を活用した遊び感覚の支援

不登校やひきこもり等を経験し、回復した親子が中心となり、支援活動を行っています。また、ゲームで日本一になった元当事者らがゲームを活用する等、遊び感覚の支援をもとに自立を支援しています。

■ 市内外の行政機関、団体と連携して寄り添い型の支援を提供

平塚市内外の数多くの行政機関・諸団体と連携し、各家庭の事情に合わせ、寄り添い型の支援を行っていることも特徴です。居場所の提供、就労支援パソコン講座の開催や個別相談(訪問支援)等を展開することで、悩みを抱える親子の自立を支援しています。

パートナーの声

■ 楽しく参加できるボランティア作業を提供してもらえた

本の修繕、書籍の整理等の体験できる作業は、いずれも楽しく参加できる内容になったと思います。ただ、本の修繕については修復作業の選択が難しい場合もありましたが、付き添ってご助言をくださった市の職員様から丁寧に指導いただき、とても有難く感じた次第です。

■ 体験参加者の自立意欲が高まっている

自立意欲が高まり、「継続して参加したい」という若者も存在している為、団体スタッフが作業手順等の理解を深めながら、継続して事業を行っていきたいと考えております。



ひらつかパラスポーツフェスタ

- パートナー：ひらつかパラスポーツフェスタ実行委員会、ひらつかオリパラ企業連携の会、平塚市スポーツ推進委員協議会、東海大学、高浜高校
- 担当部署：福祉部 障害福祉課
社会教育部 スポーツ課
- 事業開始：平成30年度

事業の概要

パラスポーツ（障がい者スポーツ）を体験する機会を提供し、パラスポーツに対する理解を深め、普及・振興を図るとともに、障がいの有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツに取り組むきっかけづくりとすることを目的として、平成30年度から「ひらつかパラスポーツフェスタ」を年1回開催しています。令和元年度から実行委員会を組織し、行政、市民団体、企業と協働しながら規模を拡大しています。また、東海大学学生、県立高浜高校生徒がボランティアとして事業運営に携わっています。第1回は、延べ1,000人、第2回目は、延べ1,200の参加者の皆様にお集りいただきました。

事業内容は、車いすテニス、車いすバスケットボール、ボッチャ、視覚障害者5人制サッカーなどのパラスポーツの体験ブースや、囲碁ボール、スポーツウエルネス吹矢などのニュースポーツ体験ブースの他、体力測定等の健康関連ブースまで幅広く実施しています。また、「ひらつかボッチャ競技大会」を同時開催し、開会式のオープニングイベントとして、手話パフォーマンスグループの「HAND SIGN」による手話ダンス公演も行われ、更にイベントを盛り上げています。



協働に至ったきっかけ・経緯等

第1回目開催時は、実行委員会は組織していませんでしたが、各ブースを市民団体や企業の皆様に御協力をいただき開催しました。第2回目は、前年度の反省点を活かしながらより良い事業とするため、実行委員会を組織し、市民団体や企業等の意見をより反映でき、主体的に事業にかかわることができるようにしました。

お互いの特性を活かした役割分担

■ 行政の主な役割分担

会場確保、実行委員会の運営、資料作成、関係団体との連絡調整、当日の運営

■ 団体の主な役割分担

実行委員会への出席、意見提案、当日の各ブースの運営、受付業務、会場準備、片付け

#hiratsukagood 写真展共同開催

- パートナー：市民（インスタグラマー・平塚学園）
- 担当部署：市長室 広報課
- 事業開始：平成30年度

事業の概要

写真共有 SNS「Instagram」の公式アカウント「hiratsukagood（ひらつかグッド）」では、平塚の GOOD なシーンや思い出を収めた写真を「#hiratsukagood」のハッシュタグで募集しており、現在5万2,000件を超える投稿が集まっています。

投稿いただいた作品を集めた「#hiratsukagood 写真展」は、平塚の四季や観光スポットをテーマに市内商業施設や市役所で実施しており、平成28年度から今までに21回開催しています。

平成30年度からは、人気インスタグラマーとの共同開催を開始。市民の皆さんが考える「#hiratsukagood」な写真を同会場に展示することで、様々な視点から市の魅力を発信してきました。

令和元年度はより若い世代との協働を目指し、平塚学園高等学校写真部の皆さんとの共同開催を実現。高校生目線でとらえた「#hiratsukagood」な作品を多くの方にご覧いただきました。



協働に至ったきっかけ・経緯等

より市民を巻き込んだシティプロモーションを展開するため、「#hiratsukagood」投稿者の中で、個人で写真展を開催するなど自主活動が盛んなアカウントへ DM でお声がけしました。また、平塚学園高等学校との共同開催については「湘南ひらつか観光風景写真コンクール」への参加をきっかけにその活動を知り、学校へ協力を依頼しました。

お互いの特性を活かした役割分担

■ 行政の主な役割分担

会場の確保、会場の準備と片付け、市 SNS による発信、パネル作成品の提供

■ 団体の主な役割分担

写真の撮影、写真パネルの作成、パネルのレイアウト、アンケートの実施・集計

逃げ地図作成（津波対策訓練）

- パートナー：なでしこ地区、花水地区、港地区の自治会
自主防災組織、津波避難ビル、学校
- 担当部署：市長室 災害対策課
- 事業開始：平成29年度

事業の概要

平成29年度津波対策訓練にて海岸地域の3つの連合自治会と図上訓練を実施し、地域のみなさんとともに逃げ地図を作成しました。逃げ地図とは津波ハザードマップに示されている津波浸水想定区域内から道路を歩いて何分で逃げられるかを示した地図です。逃げ地図では浸水が想定されている区域から出られる場所を避難目標ポイントとして、赤マルで示しています。更に浸水想定区域内の道路に色をつけて、避難目標ポイントまでにかかる時間を色の違いで表現しています。また、地域とともに作成することで「公園・市営住宅を通り抜けられる」など地域が持つ情報を取り入れた地図にすることができました。

この逃げ地図は、自治会を通して地域のみなさんへ周知されるとともに、自治会の防災訓練、学校の授業、保育園の引き取り訓練、公民館の高齢者学級などで活用されています。実際にこの逃げ地図を活用した避難訓練を実施した一部の地域では、より地域に密着した情報を取り入れた独自の逃げ地図を作ることで、広く津波避難の意識向上に役立てています。



協働に至ったきっかけ・経緯等

平成29年3月に平塚市津波ハザードマップが改訂されたことを踏まえ、これを活用することを主なテーマとして実施しました。海岸地区の自治会に協力をいただき地域の実情を踏まえた地図を作成しています。

お互いの特性を活かした役割分担

- 行政の主な役割分担
津波対策訓練の企画及び実施、逃げ地図の普及啓発
- 団体の主な役割分担
訓練開催の案内、逃げ地図の普及啓発、逃げ地図を活用した避難訓練等の実施

ひらつかリトアニア

交流推進実行委員会

- パートナー：ひらつかリトアニア交流推進実行委員会
- 担当部署：企画政策部
オリンピック・パラリンピック推進課
- 事業開始：平成29年度

事業の概要

平塚市は、東京2020オリンピック・パラリンピックにおけるリトアニア共和国のホストタウンとして、リトアニア共和国の事前キャンプの受け入れ体制の整備をはじめ、スポーツ、文化、経済など、さまざまな分野での交流を推進することを目的に、平成29年に市民主体のひらつかリトアニア交流推進実行委員会を設立しました。当実行委員会は、「事前キャンプ部会」、「ホストタウン部会」、「サポート部会」の3つの部会があり、スポーツ団体や経済団体、行政機関の代表者ら、計60人により組織されています。これまで、リトアニアオリンピック・パラリンピック委員会ナショナルチームのテストトレーニングや、各種訪問団の受け入れをはじめ、市内で行われるイベントにブースを出展するなどの各種PR活動も行っています。

また、令和元年12月にリトアニア共和国の共生社会ホストタウンに登録されたので、これまでの取組はもとより、市民の心のバリアフリーを推進し、共生社会の実現に向けて取り組んでいきます。



協働に至ったきっかけ・経緯等

平成28年10月28日、平塚市及び県は、リトアニアオリンピック委員会と東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた事前キャンプに関する協定を締結しました。これを受けて、同国の事前キャンプ受け入れ及びホストタウン交流計画の推進を担う組織として、平塚市、県及び関係団体を構成員とする実行委員会を設置するに至りました。

お互いの特性を活かした役割分担

- 行政の主な役割分担
会場の確保、実行委員会への助言、資料の作成
- 団体の主な役割分担
実行委員会の運営、事業の企画実施

波力発電関連分野での 新産業創出促進事業

事業の概要

- パートナー：平塚海洋エネルギー研究会
(東京大学生産技術研究所他)
- 担当部署：産業振興部 産業振興課
- 事業開始：平成28年度

波力発電関連分野での新産業創出と地域活性化を図るため、平塚市と東京大学生産技術研究所が協力し、様々な企業が参画する産学公の平塚海洋エネルギー研究会を平成28年6月9日に発足しました。

本研究会では、波力発電の実証事業の実現に向け、平塚市が選定された国の地方創生加速化交付金及び地方創生推進交付金を活用し、事業を進めてきました。

平成30年10月に、東京大学生産技術研究所林研究室を代表とするグループが、環境省の「平成30年度CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業（二次公募）」に採択され、平塚波力発電所の実証事業が始まりました。

また、これらの活動をきっかけに、平成31年3月19日、東京大学生産技術研究所と平塚市は連携協力協定を締結しました。

この協定は、東京大学生産技術研究所及び平塚市の密接な連携と協力のもと、海洋活用技術の研究開発を推進するとともに、新産業創出及び人材育成等に寄与することを目的とします。



協働に至ったきっかけ・経緯等

平塚市内には、東京大学の平塚沖総合実験タワーと平塚総合海洋実験場があり、管理者である林教授から波力発電の実証実験について打診がありました。市内には様々な技術やノウハウを持った企業が集積し、企業研究所の立地も多くあるため、産学公の連携による新産業の創出につなげたいとの思いから、共同事業をスタートしました。

お互いの特性を活かした役割分担

- 行政の主な役割分担
市内事業者と研究会のマッチング、実証事業への協力（場所の提供、地元調整、広報など）
- 団体の主な役割分担
波力発電の実証事業の実施（可能性調査、設計、資金獲得、発電所の製作、施工、認可取得、運転、研究など）

ベジタマもなかレシピコンテスト

事業の概要

- パートナー：市民、平塚市民・大学交流事業観光推進部会、ベジタマもなかプロジェクト、平塚市漁業協同組合、湘南農業協同組合、東海大学 To-collabo プログラム
- 担当部署：産業振興部 農水産課
- 事業開始：平成29年度

平塚市の農産物や海産物の地産地消の普及を目的に考案された、キャラクター“ベジ太”と“ひらつかタマ三郎”が浮き彫りされた平塚産米「ベジタマもなか」を利用したオリジナルもなかのレシピを一般市民から広く募集しました。みんなで楽しく地産地消活動に参加してもらうことで、平塚市民に親しまれる新たな地域ブランド作りを東海大学と協働で取り組みました。

応募用紙をもとに1次審査を行い、上位5名が最終審査に進んでもらいました。最終審査では、実際に調理をしてもらい、審査員による審査の結果順位を決めました。

最終審査では、「野菜のモンブランもなか」、「タマ三郎 de もなか」、「簡単でヘルシー！豆乳カスタードのパンケーキ風もなか」、「ひらつか丸ごといただきます！もなか」、「里いもなんですもんなか」とユニークなもなか勢ぞろいし、様々な「ベジタマもなか」が誕生しました。



協働に至ったきっかけ・経緯等

ベジタマもなか完成した際に、市内事業者の協力のもと、オリジナルのベジタマもなかを制作してもらい、市内イベント時に販売をしていました。さらなる認知度の向上や市民に親しまれる新たな地域ブランド食材を育てるために、市民参加型のイベントとして、「ベジタマもなか・レシピコンテスト」を開催しました。

お互いの特性を活かした役割分担

- 行政の主な役割分担
HPへの掲載・チラシの配架、参加者・関係団体との連絡・調整
- 団体の主な役割分担
一次審査、最終審査の準備、運営

得する街のゼミナル平塚まちゼミ

事業の概要

- パートナー：平塚市中心市街地活性化調整協議会、平塚市商店街連合会
- 担当部署：産業振興部 商業観光課
- 事業開始：平成28年度

中心商店街のお店の人が講師となり、各商店の専門知識や特性などを活かした少人数のミニ講座を無料で開催しています。各商店の存在や特徴を知っていただくとともに、受講者との交流を通し、商店街や各商店のファンづくりと中心商店街の活性化を目的にしています。

受講者が普段訪れない各商店に来店し、店主などと交流できる仕組みは、新規顧客の獲得につながり、リピーターも増えています。

また、他店とコラボレーションする講座も増えたことで、お互いのお店を知る機会となり、商店同士の交流にもつながっています。

参加店と講座は、平成28年度が19店、22講座でしたが、令和元年度は41店、63講座に増加。それに伴い、受講者も205人であったのが、644人と多くの方が参加していただくようになりました。

現在は店主らがまちゼミサポーターを結成し、運営や企画にかかわるなど、商業者が主体的に活動しています。



協働に至ったきっかけ・経緯等

大型商業施設の開業を中心市街地の活性化のきっかけとし、新たに専門店の良さを前面に打ち出し、地域に根ざした、地元にも愛される商店街をつくるため、開催することになりました。

お互いの特性を活かした役割分担

■ 行政の主な役割分担

各種情報発信（HP、各種SNS、記者発表等）、チラシの配布、会議やグループワーク時の事務局支援など

■ 団体の主な役割分担

平塚市中心市街地活性化調整協議会…運営、企画、資料・チラシの作成と配布など
平塚市商店街連合会…新規参加店舗の勧誘、企画、チラシの配布、情報発信など

ちいき情報局の運営

事業の概要

- パートナー：ちいき情報局開局地区
- 担当部署：市民部 協働推進課
- 事業開始：平成22年度

ちいき情報局は、パソコンや携帯電話を利用して、日常的に平塚市内の地域の情報を見ることができる地域向けの交流・情報提供サービスで、コミュニティの活性化を図るとともに、地域の各種団体の連携を強化するためのホームページ（HP）です。

HPは、概ね小学校区単位ごとの自治会を中心とした地域の各種団体によって運営されており、自分が住んでいる地域の情報を入手できるほか、市内の各地区で行われている防犯、防災、子育て等の取組み事例を調べ、自分たちの地域活動の参考にすることも出来ます。

また、地区限定行政情報や行政HPのリンクの掲載をすることで、行政情報を共有することも可能です。



取り組みをスタートした平成22年時点では3地区（3連合自治会）のみの開局でしたが、情報の発信・共有の手段として徐々に地域に浸透していった結果、令和2年3月10日現在、21地区（24連合自治会）で開局し活用されています。

協働に至ったきっかけ・経緯等

平成20年に平塚市が行った住民アンケートで「自治会の活動がよく分からない」などの回答が多数あったことを受け、平塚市自治基本条例の3原則のひとつである「情報の共有」の具現化に向けた取組の一環として、地区ごとにHPを持てる体制を平成22年に平塚市が整備しました。

お互いの特性を活かした役割分担

- 行政の主な役割分担
各地区へのHPの提供、システムの全体の保守管理、操作説明会等の開催など
- 団体の主な役割分担
各地区のHPの管理・運営

びわっ子クラブ

- パートナー：びわ青少年の家ボランティアスタッフ
- 担当部署：健康・こども部 青少年課
- 事業開始：平成10年度

事業の概要

自然と接する機会の少ない子ども達に対して、豊かな自然の残る西部丘陵地帯という地の利を活かし、作物の植え付けから収穫までの一連の作業や、自然体験・創作活動などの野外体験を通じ、育てる喜び、作る喜びを分かちあうとともに、異学年・他校の子どもたちとの交流を持ってもらうことを目的に、平成10年度から「びわっ子クラブ」を開催しています。

市内在住・在学の小学校4年生から中学生までが対象で、会員32名で年9回程度（原則土曜日開催）活動しています。その内の3回は、「森の新緑祭（5月）」、「森の収穫祭（10月）」、「森の歳末祭（12月）」として、会員だけでなく、会員のご家族や一般のご家族も参加することができます。

平成31・令和元年度の活動では、収穫した野菜を使った野外炊事やバウムクーヘン作り、1泊2日のサマーキャンプや大王松の松ぼっくりツリー作り、落ち葉を集めて行う焼き芋作り等を行いました。



お互いの特性を活かした役割分担

■ 行政の主な役割分担

事業の企画・実施、広報、資料作成、会場準備や片付け、畑の維持管理等

■ 団体の主な役割分担

事業当日の実施補助（会場準備や受付、子どもたちのサポート、片付け等）、一部プログラムの企画

フードドライブの実施

事業の概要

- パートナー：NPO 法人フードバンクひらつか
- 担当部署：環境部 環境政策課
- 事業開始：平成29年度

食品ロスを生んでいる1つに、賞味期限の認識をはじめとする市民及び事業者の過度な鮮度志向や製造工程のロスなどが挙げられます。本事業は、NPO 法人フードバンクひらつかと市による協働事業で、そうした理由により廃棄されていた食品を有効利用し、ひとり親家庭や支援を必要とされる方、又児童福祉施設などへ未使用食品を無償でお届けすることで、廃棄物の発生抑制につなげることを目的としています。毎月1回を目安として、平塚市役所1階の多目的ホールで米、乾麺、調味料、缶詰・瓶詰、菓子、飲料などの未使用食品（賞味期限が記載され期限が2か月以上かつ、常温保存が効く未開封のものに限る）を集める「フードドライブ」を定期開催しています。



※平成31年度実績：延べ提供者数 241人、
提供された未使用食品数 4,943品、
重量 746.7kg

協働に至ったきっかけ・経緯等

平成29年7月に、まだ食べられる食品を引き取り、必要とする人たちに届ける市民団体（現在のNPO 法人フードバンクひらつか）が設立されたのを機に、ごみの減量に取り組む市環境政策課がフードドライブの定期開催の実施を同団体に呼び掛けたことにはじまります。

お互いの特性を活かした役割分担

- 行政の主な役割分担
ごみ通信、ホームページなどによるフードドライブの開催告知、場所の提供
- 団体の主な役割分担
未使用食品の集荷、支援を必要とされる方などへ配達

中心市街地活性化推進事業

- パートナー：平塚まちなか活性化隊
- 担当部署：都市整備部 都市整備課
- 事業開始：平成30年度

事業の概要

平塚市では、持続可能な中心市街地の活性化をめざし、平成31年1月に「平塚駅周辺地区活性化ビジョン」を策定し、地域住民や商業者と市が共通認識を持つとともに、活性化への基本的な方向性を示しました。

これをうけ、地元の事業者等が中心となって、平成31年3月に、まちづくりの進め方の計画書となる「平塚まちなか活性化ロードマップ」が策定されました。現在は、このロードマップに基づき、若手事業者等により結成された「平塚まちなか活性化隊」が主体となった活性化事業を展開しています。

具体的には、空き店舗を活用し、チャレンジショップやイベントでの利用、来街者の休憩の場など、地域の活動拠点となる「まちなかベース きちきち」の運営や、通りごとの特色を出し、魅力を高めるための独自ルールを定める「空間形成ガイドライン」の策定、空き店舗対策などの事業の検討をすすめ、実施しています。



協働に至ったきっかけ・経緯等

中心市街地では、商業振興を中心とした行政主体の活性化に取り組んできましたが、商店街を取り巻く環境の変化などにより、にぎわいを失いつつあります。これからは、商業振興に加え、地域を熟知した住民や事業者等が主体となって市民交流の場の創出や、子育て世帯や高齢者などの利便性を向上させる取組などのまちづくりを進めていく必要があることから、市民と協働して取り組むこととしました。

お互いの特性を活かした役割分担

■ 行政の主な役割分担

「平塚駅周辺地区活性化ビジョン」の策定、財政的支援、人的支援

■ 団体の主な役割分担

「平塚まちなか活性化ロードマップ」の策定、活性化事業の検討・実施、ホームページやSNSを利用した活動の発信

ちゅうおう FESTA

- パートナー：ちゅうおう FESTA 実行委員会
- 担当部署：社会教育部 中央公民館
- 事業開始：平成4年度

事業の概要

中央公民館の利用団体による成果発表の場として、平成4年度から「ちゅうおう FESTA」を開催しています。利用団体を中心となって実行委員会を組織し、行政は事務局として支援しています。

内容は、芸能発表、作品展示、体験教室、模擬店の4部門で構成され、各団体が多種多様な活動の成果を発表しています。当日だけでなく、全体会議や部会、実行委員会等を通して、各団体が積極的に情報交換を行っています。

また、近年は、大ホールにて中央公民館市民アカデミー「わくわく鑑賞会」を同時開催し、小さなお子さまと一緒に楽しみいただいています。

令和元年度の参加団体は40団体、入場者は2日間で延べ2,188人であり、例年と同程度の規模となっています。平塚市でも、広場の土の入れ替え、肥料の配布や花壇の整備を行っております。

協働に至ったきっかけ・経緯等

利用団体が主体となるイベントのため、実行委員会形式を採用して開催しています。

お互いの特性を活かした役割分担

- 行政の主な役割分担
会場の確保、実行委員会への助言、資料の作成
- 団体の主な役割分担
実行委員会の運営、当日の運営と受付、会場の準備・片付け

対話による美術鑑賞事業

- パートナー：ボランティアチームひらビあつま〜れ
- 担当部署：社会教育部 美術館
- 事業開始：平成27年度

事業の概要

市民ボランティア（愛称：ひらビー）のみなさんと一緒に、市内小中学校の子どもたちと、学校の授業・美術館の展示室で実施する「対話による美術鑑賞」というアートプロジェクトをおこなっています。学校では作品のカードをつかってゲームをしたり、美術館では本物の絵の前で、絵についてたくさんおしゃべりしています。

「絵を見ておしゃべりする」というのがポイントで、ひらビーが少人数グループのガイド役となり、子どもたちが絵を見て感じたことを、自由に発言できる雰囲気をつくります。美術の鑑賞には、何か正解があるわけではありません。このやり方で鑑賞すると、子どもたちの柔軟で驚くべき感性を目の当たりにしながら、徐々に作品の本質へと迫っていくことができます。そのプロセスは実にスリリングで楽しいものです。

平塚市内の子どもたちがアートを楽しむ力をはぐくみ、答えのない問いについて考える力をやしなうことが目的の事業です。



協働に至ったきっかけ・経緯等

これからの社会を担う子どもたちに特化し、地域に開かれた美術館を示すことを考えて事業を企画しました。実施にあたり、美術が好きだけでなく、地域のこと、子どものこと、教育のことに関心があり、社会貢献の意識がある人に携わっていただくことが重要で、先行して大和市や佐倉市美術館の事例を参考に、市民ボランティアと協働してすすめることになりました。

お互いの特性を活かした役割分担

■ 行政の主な役割分担

ボランティアコーディネート、学校との連絡調整、研修実施など。

■ 団体の主な役割分担

子どもと楽しく作品鑑賞する。地域、子ども、教育に関して考えを深め、地域の歴史を引き継ぎ、文化を創造していく担い手になる。

3. 提案型協働事業一覧（平成29年度～31年度実施事業）

◆平成29年度実施 提案型協働事業

	事業名	担当部署	パートナー
1	不登校・ひきこもり改善・自立支援事業	健康・こども部 青少年課	NPO 法人ぜんしん
2 (P1)	ひらつか市民活動センター協働運営事業	市民部 協働推進課	特定非営利活動法人湘南 NPO サポートセンター

◆平成30年度実施 提案型協働事業

	事業名	担当部署	パートナー
1	不登校・ひきこもり改善・自立支援事業	健康・こども部 青少年課	NPO 法人ぜんしん
2 (P1)	ひらつか市民活動センター協働運営事業	市民部 協働推進課	特定非営利活動法人湘南 NPO サポートセンター

◆平成31年度実施 提案型協働事業

	事業名	担当部署	パートナー
1 (P1)	ひらつか市民活動センター協働運営事業	市民部 協働推進課	特定非営利活動法人湘南 NPO サポートセンター
2 (P4)	「アクティブ防災」で作る、手をつなぎたくなる街平塚の防災力強化プロジェクト	市長室 災害対策課	特定非営利活動法人 MAMA - PLUG
3 (P7)	生物多様性保全推進事業	環境部 環境保全課	ひらつか生物多様性推進協議会
4 (P10)	図書館におけるボランティア体験を通じた不登校・ひきこもり改善・自立支援事業	社会教育部 中央図書館	NPO 法人ぜんしん

※カッコ内は事例の紹介ページです。

4. その他の協働事業一覧（平成29～31年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
1	SunSun マルシェ	市長室 広報課 産業振興部 商業観光課	SunSun マルシェ実行委員会
2 (P13)	ひらつかパラスポーツフェスタ	福祉部 障がい福祉課 社会教育部 スポーツ課	ひらつかパラスポーツフェスタ実行委員会、ひらつかオリパラ企業連携の会、平塚市スポーツ推進委員協議会、東海大学、高浜高校
3	広報ビデオ・ひらつかビジョン	市長室 広報課	東海大学文学部広報メディア学科学生
4	#hiratsukagood フォトキャンペーン	市長室 広報課	市民
5	#hiratsukagood 動画コンテスト	市長室 広報課	市民
6	平塚地下道ミュージアム	市長室 広報課	平塚まちなか美術館実行委員会
7	歩道のマルシェイベント「ひらつかパラダイス」	市長室 広報課	ひらつかパラダイス実行委員会
8 (P14)	#hiratsukagood 写真展共同開催	市長室 広報課	市民（インスタグラマー・平塚学園）
9	平塚市地域安全運動推進大会	市長室 危機管理課	平塚市防犯協会
10	防犯だより発行	市長室 危機管理課	平塚市防犯協会
11	防犯キャンペーン	市長室 危機管理課	平塚市防犯協会
12	地域見守り花植え活動	市長室 危機管理課	平塚市防犯協会
13	防犯教室	市長室 危機管理課	平塚市防犯協会
14	平塚駅周辺環境浄化に関するパトロール	市長室 危機管理課	平塚駅周辺環境浄化対策連絡会
15	避難所運営委員会	市長室 災害対策課	自治会自主防災組織
16	避難行動要支援者登録制度	市長室 災害対策課	自治会、民生委員児童委員協議会
17	津波避難ビルの取り組み	市長室 災害対策課	マンション管理組合
18	平塚市自主防災組織資機材等整備事業助成金	市長室 災害対策課	自治会町内会自主防災組織
19 (P15)	逃げ地図作成（津波対策訓練）	市長室 災害対策課	なでしこ地区、花水地区、港地区の自治会、自主防災組織、津波避難ビル、学校
20	防災標語	市長室 災害対策課	小中学生、市民

※カッコ内は事例の紹介ページです。

4. その他の協働事業一覧（平成29～31年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
21	女性防災コミュニティ講座	市長室 災害対策課	女性防災クラブ平塚パワーズ
22	ひらつな祭	市長室 災害対策課	ひらつな祭実行委員会
23	平塚市民・大学交流委員会事業	企画政策部 企画政策課	平塚市民・大学交流委員会
24	わくわくマップへのバリアフリースイレマップの掲載	企画政策部 情報政策課	平塚ユニバーサルデザインプロジェクト
25 (P16)	ひらつかリトアニア交流推進実行委員会	企画政策部 オリンピック・パラリンピック推進課	ひらつかリトアニア交流推進実行委員会
26	「パラスポーツパーク！～ブラインドサッカー体験会～」	企画政策部 オリンピック・パラリンピック推進課	TANAKA ホールディングス株式会社、ひらつかオリパラ企業連携の会、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、ららぽーと湘南平塚
27	パラスポーツ講演会	企画政策部 オリンピック・パラリンピック推進課	東京ガス（株） 神奈川西支店
28	平和意識普及・啓発事業	総務部 行政総務課	I LOVE PEACE 事業運営委員会
29	平和の折り鶴作成コーナー	総務部 行政総務課	市民
30	市民平和のタペ	総務部 行政総務課	市内中学生及び高校生
31	核兵器廃絶平和都市宣言懸垂幕作製	総務部 行政総務課	I LOVE PEACE 事業運営委員会
32	湘南ひらつかテクノフェア	産業振興部 産業振興課	湘南ひらつかテクノフェア実行委員会
33	湘南ヤーコン応援団	産業振興部 産業振興課	湘南ヤーコン応援団
34	湘南ひらつかふれあいマーケット	産業振興部 産業振興課	湘南ひらつかふれあいマーケット出店者会、平塚商工会議所
35	平塚市ビジネスケースプロジェクト	産業振興部 産業振興課	東海大学、神奈川大学等（学生、大学院生）
36 (P17)	波力発電関連分野での新産業創出促進事業	産業振興部 産業振興課	平塚海洋エネルギー研究会（東京大学生産技術研究所他）
37	湘南ひらつか名産品選定等事業	産業振興部 産業振興課	湘南ひらつか名産品選定委員会
38	中小・ベンチャー企業魅力発信トークライブ	産業振興部 産業振興課	東海大学、神奈川大学（学生、大学院生）
39	就活応援講座事業	産業振興部 産業振興課	東海大学、神奈川大学（学生、大学院生）
40	企業交流会事業	産業振興部 産業振興課	東海大学、神奈川大学（学生、大学院生）

※カッコ内は事例の紹介ページです。

4. その他の協働事業一覧（平成29～31年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
41	親子ものづくり教室	産業振興部 産業振興課	市内技能職団体
42	ひらつか花アグリ花のある景観づくり事業	産業振興部 農水産課	金田花の会
43	米づくり体験隊	産業振興部 農水産課	ハッパ会
44	市民農園	産業振興部 農水産課	市内農家、市民
45	親子野菜づくり体験教室&採れたて野菜調理教室	産業振興部 農水産課	サポートファーマークラブ
46 (P18)	ベジタマもなかレシピコンテスト	産業振興部 農水産課	市民、平塚市民・大学交流事業観光推進部会、ベジタマもなかプロジェクト、平塚市漁業協同組合、湘南農業協同組合、東海大学To-collaboプログラム
47	地元農産物のPR	産業振興部 農水産課	軽トラファーマーズ
48	お魚の捌き方教室	産業振興部 農水産課	湘南ひらつか魚食普及協議会
49	平塚商業まつり	産業振興部 商業観光課	商業まつり実行委員会
50	湘南ひらつか七夕まつり	産業振興部 商業観光課	湘南ひらつか七夕まつり実行委員会
51	商店街にぎわい創出事業	産業振興部 商業観光課	平塚市中心街イベント実行委員会
52	花火大会開催事業	産業振興部 商業観光課	湘南ひらつか花火大会実行委員会
53	やすらぎ回廊モニターハイキング	産業振興部 商業観光課	(一社)平塚市観光協会
54	市民七夕飾り	産業振興部 商業観光課	湘南七夕の会、市民
55	七夕ボランティア	産業振興部 商業観光課	市民
56 (P19)	得する街のゼミナール 平塚まちゼミ	産業振興部 商業観光課	平塚市中心市街地活性化調整協議会、平塚市商店街連合会
57	商業経営セミナー	産業振興部 商業観光課	平塚商工会議所、平塚市商店街連合会
58	ボランティア&市民活動見本市	市民部 協働推進課	市民活動団体

※カッコ内は事例の紹介ページです。

4. その他の協働事業一覧（平成29～31年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
59	ユースボランティア	市民部 協働推進課	市民活動団体
60	無料パソコン相談会	市民部 協働推進課	NPO法人ひらつかITサポート
61	市民活動団体向けパソコン講座	市民部 協働推進課	NPO法人ひらつかITサポート
62	ひらつか地域づくり市民大学	市民部 協働推進課	NPO法人湘南NPOサポートセンター
63	地域活動パネル展	市民部 協働推進課	平塚市自治会連絡協議会
64	ひらつか市民活動センターまつり	市民部 協働推進課	ひらつか市民活動センターまつり実行委員会
65	公益信託ひらつか市民活動ファンド	市民部 協働推進課	ひらつか市民活動ファンド運営委員会 市民活動団体（助成団体）
66	パソコン交流カフェ ぱそかふえ	市民部 協働推進課	NPO法人ひらつかITサポート
67	市民活動PRのために企業祭への共同出展	市民部 協働推進課	市内市民活動団体
68	NPO・企業・大学のパートナーシップミーティング	市民部 協働推進課	企業・大学・市民活動団体
69	まちづくりミーティング コミュ☆カフェ	市民部 協働推進課	市民活動団体、学生
70	市民活動センター専門相談事業	市民部 協働推進課	市民活動団体
71	市民活動センター 情報誌・ホームページリニューアル内容の検討・企画	市民部 協働推進課	市民活動団体
72	市民活動センター情報誌「ひらつかの風」取材時写真撮影協力	市民部 協働推進課	湘南フォトファミリー
73	市民活動支援のための古本寄附「たすけ愛文庫」	市民部 協働推進課	市民
74	市民活動センターまつり広報動画作成	市民部 協働推進課	平塚市民のスマホの困りごとを解決する会
75	市民活動センターまつりスタンプラリー景品の寄附	市民部 協働推進課	市民活動団体、事業者
76	自治会加入促進	市民部 協働推進課	平塚市自治会連絡協議会
77	平塚市自治会連絡協議会事務局支援	市民部 協働推進課	平塚市自治会連絡協議会
78 (P20)	ちいき情報局の運営	市民部 協働推進課	ちいき情報局開局地区

※カッコ内は事例の紹介ページです。

4. その他の協働事業一覧（平成29～31年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
79	行政からの回覧物の仕分け・配布業務	市民部 協働推進課	平塚市自治会連絡協議会
80	市民活動センターまつりへの地域団体出展	市民部 協働推進課	崇善地区自治会連絡協議会、崇善地区青少年指導員、江陽中学校演劇部、崇善マーチングバンド
81	地域内連携協議の場への参加	市民部 協働推進課	協議の場開設地区
82	みんなの消費生活展	市民部 市民情報・相談課	消費者団体
83	消費者週間キャンペーン	市民部 市民情報・相談課	消費者団体
84	測量・境界相談	市民部 市民情報・相談課	神奈川県土地家屋調査士会湘南第二支部
85	不動産相談	市民部 市民情報・相談課	神奈川県宅地建物取引業協会湘南中支部、神奈川県不動産鑑定協同組合
86	年金・社会保険・労災相談	市民部 市民情報・相談課	神奈川県社会保険労務士会平塚支部
87	許認可届出相談	市民部 市民情報・相談課	神奈川県行政書士会平塚支部
88	住宅（新築・リフォーム）相談	市民部 市民情報・相談課	湘央建設組合
89	分譲マンション管理相談	市民部 市民情報・相談課	神奈川県マンション管理士会湘南支部
90	国際交流関係事業	市民部 文化・交流課	平塚市国際交流協会
91	友好都市交流事業	市民部 文化・交流課	平塚市都市提携委員会
92	国連思想普及事業	市民部 文化・交流課	国連協会平塚支部
93	外国籍市民支援放送事業	市民部 文化・交流課	多文化共生ひらつか情報局
94	行政窓口での通訳・翻訳ボランティア	市民部 文化・交流課	平塚市通訳翻訳ボランティアバンク
95	平塚市男女共同参画推進登録団体との事業共催	市民部 人権・男女共同参画課	平塚市男女共同参画推進登録団体
96	男女共同参画週間パネル展示	市民部 人権・男女共同参画課	平塚市男女共同参画推進登録団体
97	人権メッセージ展	市民部 人権・男女共同参画課	市内中学生
98	人権ふれあいイベント「みんなで描こうやさしい未来！」	市民部 人権・男女共同参画課	市民

4. その他の協働事業一覧（平成29～31年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
99	こころと命のサポート事業「自殺対策啓発事業」	福祉部 福祉総務課	浜岳中学校区子ども読書活動推進協議会
100	町内福祉村	福祉部 福祉総務課	町内福祉村（市内18地区）
101	福祉有償運送	福祉部 福祉総務課	ひまわり福祉サービス、あいえる、お出かけサポーターズ、神奈川高齢者生活協同組合ケアステーションたむら、桜花、茶温堂サポート
102	民生委員・児童委員	福祉部 福祉総務課	民生委員・児童委員
103	住民主体地域内移送	福祉部 福祉総務課	地域住民
104	高齢者の住まい探し相談会	福祉部 高齢福祉課	公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会
105	ゆめクラブ（老人クラブ）	福祉部 高齢福祉課	平塚市老人クラブ連合会
106	平塚市生きがい事業団 PR 活動	福祉部 高齢福祉課	平塚市生きがい事業団
107	軽作業代行事業	福祉部 高齢福祉課	公益財団法人 平塚市生きがい事業団
108	通院介助事業	福祉部 高齢福祉課	公益財団法人 平塚市生きがい事業団
109	認知症カフェ	福祉部 地域包括ケア推進課	平塚市高齢者よろず相談センター、NPO 法人、介護事業所、福祉施設、医療機関等
110	平塚市障がい福祉事業所製品展示即売会	福祉部 障がい福祉課	平塚市地域作業所連絡会
111	ひらつか障がい者福祉ショップありがとう	福祉部 障がい福祉課	ひらつか障がい者福祉ショップ運営協議会
112	みんなあつまれ	福祉部 障がい福祉課	東海大学ボランティアサークル
113	生活困窮世帯の中学生学習支援	福祉部 生活福祉課	社会福祉法人 湘南福祉センター
114	子育て支援事業への保育士派遣	健康・こども部 保育課	地域の子育て支援グループ
115	保育園での防災教室	健康・こども部 保育課	女性防災クラブ平塚パワーズ
116	保育園での絵本の読みきかせ	健康・こども部 保育課	読み聞かせボランティア
117	地域の子育てサークル・サロン	健康・こども部 保育課	平塚市民生委員児童委員協議会、平塚市主任児童委員会、子育てサークル

4. その他の協働事業一覧（平成29～31年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
118	ファミリー・サポート・センター事業	健康・こども部 保育課	ファミリー・サポート・センター支援会員
119	健康づくり支援事業	健康・こども部 健康課	平塚市健康推進委員連絡協議会
120	地域健康づくり活動推進事業	健康・こども部 健康課	健康クラブ・旭いきいきクラブ・はつらつフレンド・地域ふれあいの会・いきいきサークル・ベルウォーキング・港なぎさウォーキング・いこいの里・でこぼこ・松が丘地区生き生きとした地域を考える集い
121	献血推進事業	健康・こども部 健康課	市内ライオンズクラブ 日本赤十字社神奈川県赤十字血液センター
122	健康ウォーキングマップ	健康・こども部 健康課	平塚市健康推進委員連絡協議会
123	健康づくり支援（栄養指導）事業	健康・こども部 健康課	平塚市食生活改善推進団体
124	ひらつかはぐくみ葉酸プロジェクト	健康・こども部 健康課	(株)DHC、平塚市民病院産科外来、小清水産婦人科、前田産婦人科、ひまわりレディース&マタニティクリニック
125	平塚市成人式	健康・こども部 青少年課	平塚市成人式実行委員会
126	平塚市青少年国際交流事業	健康・こども部 青少年課	平塚市青少年国際交流事業実行委員会、ヒコーキ雲の会、平塚市国際交流協会
127	浅間祭	健康・こども部 青少年課	浅間祭実行委員会
128	平塚市子ども大会	健康・こども部 青少年課	平塚市子ども大会実行委員会
129	ジュニア・リーダー養成講習会	健康・こども部 青少年課	ジュニア・リーダーズクラブ
130	青少年指導員活動	健康・こども部 青少年課	青少年指導員
131 (P21)	びわっ子クラブ	健康・こども部 青少年課	びわ青少年の家ボランティアスタッフ
132	七タククリーン大作戦	健康・こども部 青少年課	青少年団体
133	愛護指導	健康・こども部 青少年課	青少年補導員
134	社会を明るくする運動	健康・こども部 青少年課	平塚市社会を明るくする運動推進委員会
135	不登校・ひきこもり改善・自立支援事業	健康・こども部 青少年課	NPO法人ぜんしん

※カッコ内は事例の紹介ページです。

4. その他の協働事業一覧（平成29～31年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
136	平塚市環境市民講座	環境部 環境政策課	ひらつか環境ファンクラブ
137	環境・地球温暖化対策出前講座	環境部 環境政策課	ひらつか環境ファンクラブ
138	ひらつか環境フェア	環境部 環境政策課	ひらつか環境ファンクラブ
139	環境パネル展	環境部 環境政策課	ひらつか環境ファンクラブ
140	ひらつかCO2CO2（コツコツ）プラン	環境部 環境政策課	市民、小中学生
141	インクカートリッジ里帰りプロジェクト	環境部 環境政策課	市民、事業者
142	夏休み子ども環境教室(里山編)	環境部 環境政策課	里山をよみがえらせる会
143	夏休み子ども環境教室(川編)	環境部 環境政策課	金目川水系流域ネットワーク
144	ひらつか環境ファンクラブ活動発表会	環境部 環境政策課	ひらつか環境ファンクラブ
145	相模川の清掃と植栽	環境部 環境政策課	平塚環境対策協議会
146	まちぐるみ大清掃	環境部 環境政策課	市内自治会、市民
147	生ごみ自家処理相談員制度	環境部 環境政策課	生ごみ自家処理相談員
148	美化推進モデル地区	環境部 環境政策課	自治会
149	クールタウン作戦	環境部 環境政策課	市民
150	ひらつかエコクッキングコンテスト	環境部 環境政策課	市民
151	ライトダウンキャンペーン	環境部 環境政策課	市民、事業者
152	ひらつかクールシェア	環境部 環境政策課	市民
153	環境ポスターコンクール	環境部 環境政策課	小中学生
154 (P22)	フードライブの実施	環境部 環境政策課	NPO 法人フードバンクひらつか
155	こども環境教室（海岸編）	環境部 環境政策課	市民、小中学生

※カッコ内は事例の紹介ページです。

4. その他の協働事業一覧（平成29～31年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
156	地域猫への取り組み	環境部 環境保全課	NPO 法人平塚のら猫を減らす会
157	平塚市民・大学交流事業「市民と大学生による里地里山再生プロジェクト」	環境部 環境保全課	里山をよみがえらせる会
158	平塚市土屋頭無地区里山保全協議会モデル事業	環境部 環境保全課	里山をよみがえらせる会
159	平塚市土屋頭無地区里山保全協議会モデル事業	環境部 環境保全課	市民個人ボランティア
160	まちづくり支援事業	まちづくり政策部 まちづくり政策課	袖ヶ浜地区まちづくり協議会、袖ヶ浜の環境を守るまちづくり協議会、龍城ヶ丘の環境を守るまちづくり協議会
161	西部丘陵地域資源まちづくり支援事業	まちづくり政策部 まちづくり政策課	湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会、東京農業大学総合研究所研究会地域再生研究部会
162	平塚市違反屋外広告物除却事業	まちづくり政策部 まちづくり政策課	平塚市違反屋外広告物除去協力員（愛称 M・K・O）
163	景観重点区域「都市のシンボル軸」の取り組み	まちづくり政策部 まちづくり政策課	大門会
164	景観重点地区「歴史軸」の取り組み	まちづくり政策部 まちづくり政策課	平塚宿まちなみ景観協議会
165	まちづくりわいわい塾	まちづくり政策部 まちづくり政策課	各地区住民
166	わたしが好きなまちかどスケッチ展	まちづくり政策部 まちづくり政策課	市内小学生 平塚商工会議所青年部（H27より）
167	里山体験ワークショップ	まちづくり政策部 まちづくり政策課	湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会
168	景観アクションプラン	まちづくり政策部 まちづくり政策課	城所の里を育てる会
169	手作りフラッグでリトアニアを応援しよう（まちづくり探偵団）	まちづくり政策部 まちづくり政策課	小学生
170	放置自転車のリサイクル	まちづくり政策部 交通政策課	神奈川県自転車商協同組合
171	交通安全ポスターコンクール	まちづくり政策部 交通政策課	幼児、小学生、中学生
172	住宅耐震相談会	まちづくり政策部 建築指導課	木造住宅耐震診断技術者
173 (P23)	中心市街地活性化推進事業	都市整備部 都市整備課	平塚まちなか活性化隊
174	高麗山公園ハイキングコース等植生調査事業	都市整備部 みどり公園・水辺課	湘南の森

※カッコ内は事例の紹介ページです。

4. その他の協働事業一覧（平成29～31年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
175	平塚市緑化まつり	都市整備部 みどり公園・水辺課	平塚市緑化まつり実行委員会
176	馬入花畑整備事業	都市整備部 みどり公園・水辺課	馬入花畑の会
177	河川環境整備事業（馬入水辺の楽校）	都市整備部 みどり公園・水辺課	馬入水辺の学校運営協議会
178	渋田川桜まつり	都市整備部 みどり公園・水辺課	渋田川桜まつり実行委員会
179	河内川あじさいまつり	都市整備部 みどり公園・水辺課	河内川あじさいまつり実行委員会
180	花とみどりの推進団体育成事業	都市整備部 みどり公園・水辺課	平塚市緑化モデル団体連絡協議会
181	なでしこ公園ふれあい花壇	都市整備部 みどり公園・水辺課	なでしこフラワーボランティア
182	花とみどりの推進団体育成事業 （公園愛護会連絡協議会）	都市整備部 みどり公園・水辺課	平塚市公園愛護会連絡協議会 平塚市内各公園愛護会
183	くす丸くんとなっちゃん隊緑化活動	都市整備部 みどり公園・水辺課	くす丸くんとなっちゃん隊
184	湘南里川づくり	都市整備部 みどり公園・水辺課	市民（湘南里川見守り隊）
185	湘南平魅力発信イベント「愛ラブ湘南平」	都市整備部 みどり公園・水辺課	湘南ハートフル・ソングス
186	花と緑のモデル地区	都市整備部 みどり公園・水辺課	八重咲自治会
187	花と緑のモデル商店街	都市整備部 みどり公園・水辺課	代官町エリア商店街
188	スコアボード点示員・放送員	都市整備部 総合公園課	平塚市総合公園技術員協議会
189	鈴川鯉のぼり祭り	土木部 土木総務課	大畑自治会
190	平塚駅南口噴水広場の植栽管理	土木部 道路管理課	平塚 花のまちづくりの会
191	道路損傷個所の通報	土木部 道路管理課	市民
192	花のふれあいスポット推進事業	土木部 道路管理課	自治会、商店街、ボランティア 等
193	国道271号市道交差地下道清掃委託	土木部 道路管理課	自治会、交通安全協会岡崎支部
194	田村16号線清掃委託	土木部 道路管理課	自治会

4. その他の協働事業一覧（平成26～28年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
195	市道及び管理協定道路草刈委託	土木部 道路管理課	自治会 等
196	金目川鈴川サイクリングコース草刈委託	土木部 道路管理課	自治会 等
197	平塚市道路通報システムみちれば	土木部 道路管理課	市民
198	平塚市下水道用マンホール蓋のデザイン使用	土木部 下水道経営課	市民、事業者等
199	声の議会だより	議会局	平塚市社会福祉協議会、平塚音訳赤十字奉仕団
200	選挙啓発事業	選挙管理委員会事務局	平塚市明るい選挙推進協議会
201	明るい選挙啓発標語	選挙管理委員会事務局	中学生、市民、平塚市明るい選挙推進協議会
202	通学路安全対策事業	学校教育部 学務課	市内地域団体
203	通学路の合同点検	学校教育部 学務課	保護者、自治会、警察、教員
204	ふれあい給食	学校教育部 学校給食課	農水畜産物生産者、関係機関
205	地域教育力ネットワーク推進事業	社会教育部 社会教育課	平塚市地域教育力ネットワーク協議会
206	放課後子ども教室推進事業	社会教育部 社会教育課	やわた子ども村・港放課後子ども教室
207	平塚市展	社会教育部 社会教育課	平塚市展委員会
208	村井弦斎まつり	社会教育部 社会教育課	村井弦斎まつり実行委員会
209	エコ・ミュージアム金目まるごと博物館事業	社会教育部 社会教育課	金目エコミュージアム推進委員会
210	平塚市文化祭	社会教育部 社会教育課	平塚市文化連盟
211	芸術文化こども体験教室	社会教育部 社会教育課	平塚市地域教育力ネットワーク協議会、平塚市文化連盟・相模人形芝居前鳥座
212	歴史的建造物保存・活用事業	社会教育部 社会教育課	記念館企画委員会
213	土曜日の教育支援体制等構築事業	社会教育部 社会教育課	横内マイタウンスクール
214	ガイドと巡る平塚の文化資源	社会教育部 社会教育課	ひらつか文化財ガイドボランティア協会

4. その他の協働事業一覧（平成29～31年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
215	平塚市文化財写生コンクール	社会教育部 社会教育課	中学生、小学生、園児、湘南平塚鉄道連合会、平塚手作り紙芝居の会
216	D52 403号蒸気機関車」ボランティア清掃・塗装作業	社会教育部 社会教育課	東日本旅客鉄道株式会社横浜支社平塚駅駅員、湘南平塚鉄道連合会会員
217	ひらつか民俗芸能まつり	社会教育部 社会教育課	民俗芸能団体
218	文化財特別公開	社会教育部 社会教育課	所有者・管理者ほか
219	七夕まつり郷土芸能披露	社会教育部 社会教育課	出演団体
220	ひらつか地域づくり市民大学	社会教育部 中央公民館	NPO法人湘南NPOサポートセンター
221	地区公民館おはなし会	社会教育部 中央公民館	各地区公民館お話し会ボランティア
222	公民館フェスティバル	社会教育部 中央公民館	公民館利用者
223	地区公民館まつり	社会教育部 中央公民館	地域団体・公民館利用者
224	市民体育レクリエーション地区大会	社会教育部 中央公民館	地域団体・市民体育レクリエーション地区大会（実行委員会）
225	知恵袋バンク	社会教育部 中央公民館	市民、市内団体
226	高齢者学級	社会教育部 中央公民館	市内団体等
227	家庭教育学級	社会教育部 中央公民館	市内団体等
228	児童・生徒地域参加事業	社会教育部 中央公民館	市内団体等
229	セカンドライフ教室	社会教育部 中央公民館	市内団体等
230	市民大学講座	社会教育部 中央公民館	市内団体等
231	市民アカデミー講座	社会教育部 中央公民館	市内団体等
232 (P24)	ちゅうおう FESTA	社会教育部 中央公民館	ちゅうおう FESTA 実行委員会
233	家庭教育講演会	社会教育部 中央公民館	平塚市PTA 連絡協議会
234	地区公民館年末大掃除	社会教育部 中央公民館	地区公民館利用団体

※カッコ内は事例の紹介ページです。

4. その他の協働事業一覧（平成29～31年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
235	平塚市市内駅伝競走大会	社会教育部 スポーツ課	平塚市市内駅伝大会実行委員会 平塚市陸上競技協会 平塚市スポーツ推進員協議会
236	平塚市少年少女マラソン大会	社会教育部 スポーツ課	平塚市陸上競技協会 平塚ロータリークラブ
237	平塚市市民総合体育大会	社会教育部 スポーツ課	平塚市体育振興連絡協議会 平塚市内各地区体育振興会 平塚市体育協会
238	平塚市スポーツ推進委員協議会	社会教育部 スポーツ課	平塚市スポーツ推進委員協議会
239	市民総合体育大会ニュースポーツ大会 バウンドテニス競技	社会教育部 スポーツ課	平塚市バウンドテニス協会
240	市民総合体育大会ニュースポーツ大会 ひらつかトリムバレーボール大会	社会教育部 スポーツ課	平塚市スポーツ推進委員協議会
241	平塚市少年少女剣道大会	社会教育部 スポーツ課	平塚市剣道連盟 平塚なでしこライオンズクラブ
242	平塚市少年少女水泳大会	社会教育部 スポーツ課	平塚水泳協会 平塚ライオンズクラブ
243	平塚市少年野球大会	社会教育部 スポーツ課	平塚市少年野球大会実行委員会 平塚市少年野球連盟 平塚市中学軟式野球連盟
244	各種スポーツ大会開催事業	社会教育部 スポーツ課	平塚市スポーツクラブ連合
245	平塚レクリエーション連盟	社会教育部 スポーツ課	平塚レクリエーション連盟
246	平塚市体育協会	社会教育部 スポーツ課	平塚市体育協会
247	学校体育施設開放事業	社会教育部 スポーツ課	各小中学校開放運営委員会
248	平塚市立小・中学校運動場、体育館個人利用促進事業	社会教育部 スポーツ課	東海大学地域スポーツクラブ
249	市内スポーツ情報ポータルサイトの運営事業	社会教育部 スポーツ課	NPO法人湘南ふじさわシニアネット
250	手話ダンスによる健康づくり事業	社会教育部 スポーツ課	HAND SIGN
251	平塚市スポーツ指導者制度	社会教育部 スポーツ課	平塚市スポーツ指導者登録者
252	平塚市スポーツボランティア制度	社会教育部 スポーツ課	平塚市スポーツボランティア登録者
253	大神スポーツ広場ボランティア整備	社会教育部 スポーツ課	湘南平塚草野球リーグ連盟
254	ひらつか市民スポーツフェスティバル	社会教育部 スポーツ課	ひらつか市民スポーツフェスティバル実行委員会

4. その他の協働事業一覧（平成29～31年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
255	囲碁ボール交流大会	社会教育部 スポーツ課	平塚市スポーツ推進委員協議会
256	ひらつかボッチャ競技大会	社会教育部 スポーツ課	ひらつかパラスポーツフェスタ実行委員会、ひらつかオリパラ企業連携の会、平塚市スポーツ推進委員協議会、東海大学、高浜高校
257	ニュースポーツ体験会	社会教育部 スポーツ課	各種スポーツ団体
258	中央図書館映画会	社会教育部 中央図書館	映画会ボランティア
259	ブックスタート	社会教育部 中央図書館	ブックスタートボランティア
260	平塚市子ども読書活動推進フォーラム	社会教育部 中央図書館	各中学校区子ども読書活動推進協議会
261	おはなし会（中央図書館）	社会教育部 中央図書館	中央図書館おはなし会ボランティア
262	乳幼児向けおはなし会（赤ちゃんおはなし会）（中央図書館）	社会教育部 中央図書館	中央図書館乳幼児向けおはなし会ボランティア
263	おはなし会（西図書館）	社会教育部 中央図書館	地域ボランティアかぼちゃの馬車
264	乳幼児向けおはなし会（赤ちゃんおはなし会）（西図書館）	社会教育部 中央図書館	乳幼児向けおはなし会ボランティア
265	おはなし会（南図書館）	社会教育部 中央図書館	南図書館お話し会ボランティア
266	乳幼児向けおはなし会（赤ちゃんおはなし会）（南図書館）	社会教育部 中央図書館	南図書館赤ちゃんおはなし会ボランティア
267	おはなし会（北図書館）	社会教育部 中央図書館	おはなし会ボランティア
268	乳幼児向けおはなし会（赤ちゃんおはなし会）（北図書館）	社会教育部 中央図書館	乳幼児向けおはなし会ボランティア
269	平塚市子ども読書活動推進事業	社会教育部 中央図書館	各中学校区子ども読書活動推進協議会
270	博物館文化祭	社会教育部 博物館	博物館会員制ワーキンググループ
271	東国史跡踏査団	社会教育部 博物館	東国史跡踏査団 会員
272	平塚の古代を学ぶ会	社会教育部 博物館	平塚の古代を学ぶ会 会員
273	古代生活実験室	社会教育部 博物館	古代生活実験室 会員
274	石仏を調べる会	社会教育部 博物館	石仏を調べる会 会員

4. その他の協働事業一覧（平成29～31年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
275	民俗探訪会	社会教育部 博物館	民俗探訪会 会員
276	お囃子研究会	社会教育部 博物館	お囃子研究会 会員
277	聞き書きの会	社会教育部 博物館	聞き書きの会 会員
278	ろばたばなし	社会教育部 博物館	ろばたばなし 話者
279	古文書講読会	社会教育部 博物館	古文書講読会 会員
280	裏打ちの会	社会教育部 博物館	裏打ちの会 会員
281	平塚の空襲と戦災を記録する会	社会教育部 博物館	平塚の空襲と戦災を記録する会 会員
282	地域史研究ゼミ	社会教育部 博物館	地域史研究ゼミ 会員
283	相模川の生い立ちを探る会	社会教育部 博物館	相模川の生い立ちを探る会 会員
284	星まつりを調べる会	社会教育部 博物館	星まつりを調べる会 会員
285	天体観察会	社会教育部 博物館	天体観察会 会員
286	展示解説ボランティアの会	社会教育部 博物館	展示解説ボランティアの会 会員
287	みんなで調べよう	社会教育部 博物館	みんなで調べよう参加者 平岡幼稚園
288	地球科学野外ゼミ	社会教育部 博物館	地球科学野外ゼミ 会員
289	自然教室	社会教育部 博物館	こまたん
290	デッサン教室	社会教育部 美術館	東海大学芸術学科
291	こども向けワークショップ	社会教育部 美術館	東海大学芸術学科
292	こども向けワークショップ (遊んでのびのび赤ちゃんアート)	社会教育部 美術館	NPO 法人 赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会
293	こども向けワークショップ (元気にのびのびキッズアート)	社会教育部 美術館	NPO 法人 赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会
294	こども向けワークショップ (缶バッチ・プラバン作り)	社会教育部 美術館	中高生ボランティア
295 (P25)	対話による美術鑑賞事業	社会教育部 美術館	ボランティアチームひらびあつま〜 れ

※カッコ内は事例の紹介ページです。

4. その他の協働事業一覧（平成29～31年度実施事業）

	事業名	担当部署	パートナー
296	美術館ボランティア	社会教育部 美術館	湘南フレンズ倶楽部
297	こども年賀状と大人絵手紙展	社会教育部 美術館	市民（高校生以上）
298	保育園鑑賞ツアー	社会教育部 美術館	NPO 法人 赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会
299	こども向けワークショップ （キッズ鑑賞ツアー）	社会教育部 美術館	NPO 法人 赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会
300	こども向けワークショップ （0歳からの鑑賞ツアー）	社会教育部 美術館	NPO 法人 赤ちゃんからのアート フレンドシップ協会
301	作ってあそぼう わくわくランド	社会教育部 美術館	市内保育士
302	消防出初式	消防本部 消防総務課	①平塚古式消防保存会、②平塚市少年 消防クラブ
303	防火防災講演会	消防本部 予防課	平塚市危険物安全協会
304	平塚市少年消防クラブ	消防本部 予防課	平塚市少年消防クラブ
305	防火キャンペーン	消防本部 予防課	平塚市少年消防クラブ
306	応急手当の普及・啓発事業	消防本部 消防救急課	ひらつか応急手当協力会
307	消防フェスティバル	消防署 管理担当	平塚市消防団 平塚市少年消防クラブ ひらつか応急手当協力会
308	医療通訳	市民病院 医事課	特定非営利活動法人多言語社会リソ ースかながわ
309	傾聴ボランティア	市民病院 医事課	病院ボランティア
310	小児読み聞かせボランティア	市民病院 医事課	病院ボランティア

お問合せ・連絡先

平塚市市民部 協働推進課 市民協働担当

〒254-8686

平塚市浅間町9番1号 平塚市役所本館7階

電話 21-9618 **FAX** 21-9756

E-mail : kyodo@city.hiratsuka.kanagawa.jp